

みんなの健康ラジオ

『きこえを良くする！ 手術と補聴器』

(2023年10月19日放送)

横浜市耳鼻咽喉科医会

横浜労災病院

塩野 理

難聴の治療

- 伝音難聴の治療：手術のことが多い
- 感音難聴の治療：急性期はお薬が主体
時間が経過してしまうと治療に反応しないことが多い
→補聴器を使用する
→人工内耳を埋め込む手術
- 音による情報の入力は日々の生活で重要な要素であり、
難聴があると生活の質が格段に低下する！
他人とのコミュニケーションが障害されることによる
精神的負担は非常に大きい！
放置することで認知症の進行を早めることがある

伝音難聴の治療

- 耳垢栓塞：その場で取れない場合はお薬で柔らかくする
- 中耳炎：急性中耳炎、慢性滲出性中耳炎、慢性穿孔性中耳炎、真珠腫性中耳炎、鼓室硬化症：お薬や手術
- 耳硬化症（耳小骨の一番奥が固くなる病気）：
内視鏡手術が主体
- 耳小骨奇形：試験的鼓室解放後に手術方針が決まる
- 頭部外傷による側頭骨骨折、耳小骨離断：
試験的鼓室解放後に手術方針が決まる

感音難聴の治療

- 先天性難聴：治療方法なし
- 加齢：治療方法なし
- 突発性難聴：お薬の治療（少なくとも1か月以内）
- メニエール病：お薬の治療
- 頭部外傷による外リンパ漏：リンパの漏れを止める手術

補聴器とは？

- 聞こえを補う器械：音を加工する
- マイクとアンプとスピーカーで構成される
- 耳の機能を改善する働きはない
 - 良く聞こえるようになるわけではなく、周りの音を大きく聞こえやすい音に変換する
 - メガネとは異なる！
- 人の声と雑音とを聞き分ける能力はない
- 高度難聴、重度難聴では言葉の聞き取りがやや困難
- 自分の感覚細胞を使う
 - 今まで聞こえていたものと同じ音
- 値段、種類がたくさんある
 - 自分の生活に合ったものを購入することが大切

人工内耳とは？

- 手術による感音難聴の治療
- 電極を内耳に埋め込み、音の刺激によって内耳を直接刺激する
- 聴力は20-30dBまで改善する
- 自分の感覚細胞は使っていない
→「あ、い、う、え、お」が違う音として聞こえる
- 音のリハビリテーションが重要
先天性難聴の場合はさらに重要！